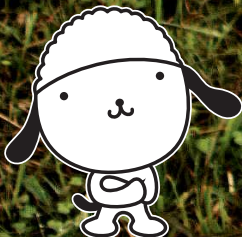


私たちは TPP に
日本が参加することに断固反対します



ごとう



こはんちゃん©

※10ページ（五島がうまい田植え体験）

CONTENTS

☆第13回 通常総代会 開催

☆青年部の活動（食農教育活動）

- ・太陽と緑 五島がうまいの立役者 中村 守さん親子
- ・五島がうまい直送便
- ・Aコープ浦桑店だより
- ・女性部共同購入商品料理講習会

7月号

JA ごとう

2014 No. 101

第13回通常総代会 開催



2014.6.26 於 カンパーナホテル



第3次中期経営計画(25～27年度)の基本テーマとして掲げた **3** つの「基本戦略」

1 農畜産物販売高45億円（27年度末）への挑戦 **達成！**

有利販売やファーマーズマーケット等、農家組合員の生産意欲を掻き立てるような販売戦略に力を入れ、計画最終年度である平成27年度での、畜産21.5億円、農産園芸23.5億円の販売高実現を目指します。

2 活力ある社会（人・産業・地域）づくりへの貢献

- ① 人づくりへの貢献
農業後継者をはじめ組合員、役職員を育て、活力に満ちた組織づくりを進め、地域の人づくりに貢献します。
- ② 産業づくりへの貢献
農業の振興は勿論のこと、地元の加工業者・飲食店等への原材料の供給、食と農に関わる体験機会の提供による観光業への寄与など、地域社会と連携を深め、産業づくりに貢献します。
- ③ 地域づくりへの貢献
地域のライフラインとして、また支店・ファーマーズマーケットなど地域のコミュニケーションを広げる場としての機能を高め、活力ある地域づくりに貢献します。

3 財務基盤強化策の完遂

組合員の営農とくらしを守るための対策とサービス還元が実施できるよう、その前提として必要な財務基盤の強化と事業量の拡大に取り組みます。

- ① 固定比率100%の達成（25年度末で達成！）
- ② 一層の財務健全化（債権保全の徹底）

第13回通常総代会議案

報告事項 1

平成25年度貸借対照表、損益計算書及び注記表の内容並びに全国監査機構の監査報告及び監事の監査報告について

第1号議案 平成25年度事業報告及び剰余金処分案承認の件

平成25年度の実業報告内容をご説明し、ご承認をお願いいたします。併せて、当期の未処分剰余金について法定事項の所要の積立その他当組合定款に基づく積立金として処分並びに配当を行い、剰余を繰り越すことのご承認をお願いするものです。

第2号議案 平成26年度事業計画設定の件

平成26年度の「事業計画」のご承認をお願いするものです。

ただし、年度途中において事業計画の変更が生じた場合でも、軽微な変更でかつ組合員に特別の負担を伴わない限りにおいては、理事会に一任願います。

第3号議案 固定資産取得・処分の件

管内農業の深耕と魅力ある事業展開を維持するために、自己資本の基準の維持と施設の有効活用を念頭に置きながら、固定資産の取得・改善等についてご承認をお願いするものです。

第4号議案 平成26年度理事及び監事の報酬支給額決定の件

役員の報酬については、昨年度の支給実績及び事業実績、経済情勢の変化等諸般の事情を踏まえ提案しております。理事の報酬は総額38,320千円以内とし、各理事の支給額及び支給方法については理事会に一任します。なお、理事は22名であります。

監事の報酬は総額9,580千円以内とし、各監事の支給額及び支給方法については監事の協議に一任します。なお、監事は5名であります。

第5号議案 平成26年産米麦等のバラ検査及び抽出検査に関する権限委任の件

売渡し米麦等の検査に際し発生した刺米等の受領及び処理について、その取扱いに関する一切の権限を組合に委任することをお願いするものです。

第6号議案 定款の一部変更の件

社会的な要請や他業態の動向を踏まえて、反社会的勢力の組合員からの排除を行うため、並びに模範定款例が改正されたこと、その他必要な整備を行うため所要の変更を行うものです。

ただし、定款変更の認可申請に際し、法令その他行政庁の指示による定款の字句その他の事項についての修正加除は理事会に一任願います。

第7号議案 信用事業規程の一部変更の件

当組合にて取扱いを行っている顧客向け国債販売については、ニーズが小さく、現在国債を保有する顧客はいない状況です。引き続き国債販売を行う場合、規程の整備や職員向け研修の継続実施等、福岡財務支局より相応の管理体制の強化を求められています。これらを踏まえて、平成26年8月1日に当組合における登録金融機関業務（顧客向けの国債販売等）を廃止するため所要の整備を行うものです。

第8号議案 農業倉庫業務規程の一部変更の件

平成26年4月1日より消費税率改正に伴い、所要の変更を行うものです。

ただし、定款変更の認可申請に際し、法令その他行政庁の指示による定款の字句その他の事項についての修正加除は理事会に一任願います。

第9号議案 役員選任の件

本総代会の終結をもって理事及び監事全員が任期満了となります。

つきましては、理事22名、監事5名の選任をお願い致します。なお、監事の議案につきましては、監事の過半数の同意を得ております。

第10号議案 役員退職慰労金支給の件

本総代会の終結をもって退任される役員に対し、それぞれ在任中の労に報いるため、退職慰労金を支給することといたします。

支給総額は40,804千円（104頁の第10号議案別紙に掲げる役員26名全員を対象として算出した本総代会終結時点における要支給額）以内とし、支給額は役員退職慰労金支給規程により算出し、支給時期・方法は理事会に一任願います。

附帯決議

この総代会において議決された事項で、権利義務に関しない軽微な事項、字句の修正及び行政庁の指示による修正は理事会に一任願います。

特別決議

- ① TPP に関する特別決議
- ② 農協改革に関する特別決議



五島市立奥浦小学校 サツマイモ定植

当J A青年部福江支部は6月5日、五島市立奥浦小学校の児童とかんころ餅用のサツマイモの定植を行いました。全校児童が参加し、青年部や上級生の指導のもと、低学年の児童は元気いっぱい作業に熱中していました。

今回植えられたイモは、毎年1月に行われているかんころ餅づくりで使用される予定となっています。

五島市立山内小学校 田植え

当J A青年部西部支部は6月20日、五島市立山内小学校の5・6年生20名と学校近くの田んぼでもち米の田植えを行いました。同地区は家で水稻を栽培している児童も多く、慣れた手つきで植え付けを行っていました。

参加した青年部員は「少し前までは各家庭で田植えを行っていたが、現在は農業に触れる機会も少ないので楽しんでほしい」と語りました。



五島市立富江小学校 田植え

当J A青年部富江支部は6月22日、五島市立富江小学校の4～6年生79名と田植えを行いました。この取り組みは総合的な学習の時間に毎年行われており、地域で農業を営む岩田弘孝さん（59）の田んぼでもち米を植えました。

初めて田植えを行う4年生を中心に、部員から植え方を教わった児童らは元気よく田んぼに入り作業を楽しみました。もち米は収穫後、学校の祭りで餅つきをして地域住民に振る舞う予定です。

五島市立本山小学校 サツマイモ定植

当J A青年部本山支部は6月23日、五島市立本山小学校の2年生22名とサツマイモの定植を行いました。今回の取り組みは生活科の授業の一環として行われ、高系14号など4種類のサツマイモが植えられました。

参加した児童全員が植え付け初体験ということで、最初は戸惑いながらの作業となりましたが、作業が進むにつれ部員が目を見張るほどの児童も現れました。



五島市立平成小学校 田植え

当J A青年部西部支部は6月25日、五島市立平成小学校の全校児童17名ともち米の田植えを行いました。同校では代々受け継いできた種もみから苗を育て、平成米として10年以上田植えを行っています。

地域住民や青年部員と協力して学校近くの田んぼで横一列になって田植えがスタート。ベテランの上級生に指導を受けながら、新入生たちは田の感触を楽しんでいました。

管内各地で食農教育を実施

J Aごとう青年部各支部では、小学校などと連携した食農教育活動を行っています。6月は特に定植作業などのピークを迎え、児童らは食やそれを支える農業について理解を深めます。

五島市立崎山小学校 小麦収穫

当J A青年部崎山支部は5月30日、五島市立崎山小学校の5・6年生およそ30名と小麦の収穫を行いました。この取り組みは毎年行われているもので、収穫された小麦は12月のうどん作りの材料として使われる予定です。児童らは慣れない手つきで鎌を使い、おいしいうどんに思いをはせながら作業を楽しみました。



五島市立川原小学校 サツマイモ定植

当J A青年部西部支部は5月30日、五島市立川原小学校の1・2年生合わせて20名と学校近くの畑でサツマイモの定植を行いました。定植には昔ながらの竹で作った定植器が使われ、畑に3種類の苗を植えていきました。今回植えられたイモは同校で行われる祭りで焼き芋にして地域住民にも振る舞われます。

新上五島町立上郷小学校 田植え

新上五島町立上郷小学校の5年生22名が6月3日、J A担当職員や地域の農家とともに田植えを行いました。この取り組みは毎年総合的な学習の時間に行われているもので、米作りを通じ、地域の文化や農業の大変さを知る貴重な体験となっています。実際に農家から米作りについての話を聞き、児童らは食と農の大切さを感じたようです。



五島市立三井楽小学校 サツマイモ定植

五島市立三井楽小学校の3年生16名と当J A三井楽支店職員がサツマイモの定植を行いました。職員から植え方の説明を聞いた児童らは元気に学校内の畑に苗を植えていきました。児童からは「虫がついたときはどうすればいいの?」や「水はどれくらい与えればいいの?」といった質問があった。今回のサツマイモは11月に収穫し、1月の調理実習で使われる予定です。



キュウリの収穫
(下崎山町)

JAでは今後も加工用を中心としたキュウリの栽培推進に力を入れ、安定した出荷量を確保したいとしています。

JAでは今後も加工用を中心としたキュウリの栽培推進に力を入れ、安定した出荷量を確保したいとしています。

加工・業務用野菜好調

ー加工用キュウリ出荷ピークー

当JAでは農家からの直接買い取りによる加工用キュウリの出荷がピークを迎えています。JAでは管内三カ所にある加工施設でキュウリを一次加工し、京都の漬物業者に出荷。一次加工により、離島のハンドともいえる輸送費を削減し、冬場の高菜と合わせて年間を通しての漬物原料の供給体制を整備しています。

管内の今年産キュウリの栽培面積は青果用・加工用合わせておよそ八五〇アとなっている。

地域の特産品について学ぶ

ー盈進小学校「五島ルビー」収穫体験ー

ハウスに集まった児童らは山戸さんから収穫の手順や注意点を聞き、元氣よくハウス内で収穫を楽しみました。児童からは「甘くておいしい」や「トマトに（うっすらと）毛が生えている」などの感想が聞かれました。

管内ではこの他にも五島ルビー生産者が、出荷終了後のハウスに子供たちなどを招き、収穫体験会を開いています。JA担当者は「子どもたちに地域の特産品を知ってもらうことで、少しでも農業について興味を持ってもらえれば」と語りました。

今シーズンの出荷を終えた、当JA富江支店管内の特産品「五島ルビー」（中玉トマト）のハウスで六月十三日、地元の五島市立盈進小学校の全校児童三十八名が収穫体験会を行いました。

この取り組みは生産者の山戸徳光さん（60）が八年前から行っているもので、出荷終了後のハウスを開放し、子どもたちに収穫の喜びを伝えていきます。



収穫を楽しむ児童



鮮やかな緑色のゴーヤ

で、JAでは健康志向の高まりに合わせた夏の重要品目として今後も面積の拡大を図る見込みです。

健康と美容に注目野菜

ーゴーヤ出荷ピークー

当JA管内では家庭菜園でも人気の高いゴーヤが出荷のピークを迎えています。管内では五島の農家がゴーヤを栽培しており、五月下旬から収穫が行われています。今年産のゴーヤは栽培面積四〇ア、出荷量は四トを計画。比較的苦みの少ない「えらぶ」という品種を栽培しています。

本年産のゴーヤは天候にも恵まれ、収量・品質ともに上々の出来となっています。各農家が早朝から収穫・選別を行い、鮮度を保つためその日のうちに京阪神地方の市場へ出荷されます。出荷は八月上旬まで行われる予定です。



ヒノヒカリの田植え（岐宿町）

暑さに負けず 豊作願う

ー普通期「ヒノヒカリ」田植えー

当JA管内では普通期ヒノヒカリの田植えがピークを迎えました。同品種は食味が良く、根強い人気を誇っています。今年産のヒノヒカリは五月二十八日から管内四カ所の水稻育苗施設で播種を開始。天候にも恵まれ、良い苗ができました。

六月二十日には管内一の米どころとして知られる岐宿町山内地区でも田植えが行われ、梅雨の晴れ間に緑色の苗が映えていました。生産者の一人は「今年の苗は例年になく良い出来。除草や水管理に気を付けて、おいしい米を作りたい」と語りました。

JA管内の今年産のヒノヒカリの作付面積は十六畝、五十八トの収穫を計画しています。

品質高く、上々の収量

ー小麦・裸麦出荷ピークー



裸麦の検査をする検査員

当JAでは六月に入り、裸麦（御島裸）・小麦（チクゴイズミ・ミナミノカオリ）の出荷がピークを迎えました。管内三カ所のライスセンターに運ばれた麦は乾燥され、実需者のもとに出荷されます。今年産の麦は天候も良く、収量・品質ともに上々の出来です。管内の今年産の麦の作付面積は、裸麦で五三・五畝、小麦七五・七畝を計画しており、収量は裸麦一三五・三ト、小麦一八五・五トとなる見込みです。

六月十七日には岐宿ライスセンターで裸麦の検査が行われ、検査員の厳しい目で水分量や異物のチェックなどを行いました。検査員の一人は「実需者の求める麦を出荷するため、厳しくチェックしている。今年産の麦は全体的に品質も良い」と語りました。

出荷基準の徹底に向けて

ー青果カボチャ出荷目揃会ー



職員の説明を聞く生産者

当JA三井楽集荷所で六月二日、契約用青果カボチャの出荷目揃会が開かれ、およそ二十名の生産者が出荷基準などについて協議を行いました。同管内の青果カボチャ（こふき）は、六月五日から出荷がスタート。週二回の集荷で七月下旬までに六十六トの出荷を見込んでいます。生産者からは「収穫を行うタイミングは？」などといった質問がありました。

また、会では次回の抑制カボチャから取り組まれる国のガイドラインに沿った特別栽培農産物認証に向けた取り組み方も説明されました。同管内で収穫されたカボチャは主に東北地方に出荷される計画で、今後は水管理に注意し、人気の高い2L・3Lを中心に出荷される予定です。



太陽と緑
五島がうまい
の
立役者 NO. 50

健康の秘訣は農業にあり

新上五島町曾根郷
なかむら まもる

中村

まもる

守さん(92)

ふみこ

文子さん(87)

つぎえ

次江さん(52)



継続は力なり

次江さんによると、守さんは時期になると、朝・昼ご飯に紫芋で作ったかんころ餅を自分で焼いて召し上がるそうで、何年も継続されています。

御年九十二歳！農業が健康の秘訣

今回取材を行ってまず驚いたのは、守さんの年齢でした。大正十年生まれということですが、質問にもしっかりと答えていただきました。もともと定置網漁船の漁師だった守さん。海外で戦争も経験され、終戦後再び漁師として活躍されました。また、人望も厚く、町の水族館で館長もされていました。現在は奥様の文子さんと義娘の次江さんと一緒に作業を行っています。

中村さん親子は現在、二十五アールの畑で馬鈴薯、大根、サツマイモ、ツワ、玉ねぎなどを栽培しています。

できることは畑にやる

「体が動くうちは畑に出たい」と語った守さん。草刈から耕耘機の操作までまだまだ現役です。奥様とは今年で結婚して六十六年。守さん同様文子さんも大変お元気で、「大根の周りにはニンニクに切れ目を入れたものを置いておくとカタツムリが来ないよ」と教えていただきました。これからも健康で楽しく農業に打ち込んでいただきたいと思います。

す。「毎朝の体操とかかんころ餅を食べること、食べ過ぎないことが健康の秘訣かもしれないね」と笑顔で語る守さん。

最近畑を少しずつ息子さんたちに任せるようになったということでしたが、取材中も元気に馬鈴薯の収穫を行っていました。





地震や台風の備えは 大丈夫ですか？



地震・台風などの自然災害により、全国でも多数の被害が発生しています。
長崎県でもいつ被害が発生するかわかりません。この機会に我が家の自然災害に対する備えの確認をしてみませんか？（写真：東日本大震災の地震災害による）

《台風16号（平成24年9月）の自然災害共済金の主な支払状況（平成26年4月4日現在）》

長崎県内全域	お支払件数	2,204 件	お支払総額	10 億 1,580 万円
J A ごとう管内		1,200 件		5 億 2,072 万円

建物更生共済【建物主契約】

むてき 10型

- 保障期間：30 年（10 年ごとに 2 回継続）
- 火災共済金額：1,000 万円
（地震のとき：最高 500 万円まで保障）
- 満期時のお受取額：100 万円

上記のご加入内容の場合（当初10年間）（住宅物件・木・防火造、月払、平成26年4月1日現在）

月々 5,920円 プランです

※継続後のご契約に適用される約款・掛金率は継続時における約款・掛金率になります。
※共済掛金の払込経路が口座振替扱いの場合、上記の金額より割安な掛金でご加入いただけます。

一日あたり

約200円（注）

（注）月払掛金5,920円を30日で割った金額です。

この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては、「重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。（写真：日本農業新聞提供）

J A 共済ホームページアドレス <http://www.ja-Kyosai.or.jp>

お問い合わせは、J A ごとう各支店へおたずねください。

JA共済
【登録番号 14425000040】



産直市場

五島がうまい・直送便

6月21日(土) 食農教育「田植え」を実施しました！



当JA産直市場「五島がうまい」は六月二十一日、消費者との交流を目的としたもち米の田植え体験会を開きました。あいにくの雨で足元がぬかるむ中、およそ四十名の親子が五島市籠淵町の出口勝博さんの田んぼで田植えを楽しみました。参加した栗明散さん(9)は「裸足で田んぼに入って泥が気持ちよかったです。楽しかったので、また参加したい」と笑顔で語りました。

また、田植え終了後には同直売所で五島産米のおにぎりを試食。田植えでお腹が空いた子供たちはおいしそうにおにぎりを頬張りました。直売部の洗川正明部長は「普段農業に接する機会の少ない消費者の方々に興味を持っていただくよい機会となった。こうしたイベントを通じ、生産者と消費者の絆が深まれば」と述べました。直売所では今回のもち米を秋ごろ収穫、店舗前広場での餅つき体験を計画しています。



上地区栽培講習会を実施しました！



基礎的内容から
品目ごとの内容まで
質問相次ぐ

当JA農産園芸部は六月九日、有川支店で栽培講習会を開きました。この取り組みは、少子高齢化やイノシシ・シカなどの鳥獣被害が深刻な同町で、農地の

再生を図り、高齢者を中心に農業を楽しんでもらうことがねらいとなっています。

今回参加したのは支店前で毎週朝市を開いている有川朝市研究会の会員およそ二十名。担当職員や五島振興局職員が講師となり、肥料・農薬の使用方法を中心に、栽培のコツを会員に指導しました。また、終了後は

普段の農作業の中で感じた問題を担当者に質問。丁寧な回答に参加者らは領きながらメモを取るなど、有意義な時間となりました。

担当者は「参加者からの質問も多く、栽培意欲の高さが伺えた。今後も講習会を実施するとともに、現地での巡回指導も計画している。家庭菜園からでも良いので、農業を楽しんでもらえれば」と話しました。

私 が作りました！

新上五島町青方郷

小島商店 小島 一雄さん (54) 恵美子さん (52)



多くの料理と相性抜群なので、たくさん食べてもらいたい」と話しました。

店主の小島一雄さんは「黒豆もやしはちゃんぽんをはじめ、こだわりの水を使った製品にはファンも多く、特に黒豆の根切りもやしは人気があります。新上五島町青方郷の小島商店では、Aコープや産直市場「五島がうまい」出荷向けのもやしやこんにゃくを作っています。この水を使った製品にはファンも多く、特に黒豆の根切りもやしは人気があります。」





女性部 共同購入商品料理講習会

6月7日～6月15日 各支部で開催しました。



6月7日 大津支部



6月10日 三井楽支部



6月11日 上五島支部



6月13日 富江支部



6月14日 崎山支部



6月15日 山内支部

当JA女性部では六月七日～十五日まで、支部ごとに共同購入商品と地元食材を使った料理講習会を実施しました。今回はそうめんと地元特産の「五島ルビー」を使ったトマト温麺をはじめ、デザートまで計六品を作りました。

日頃から家庭の台所を守る主婦の方々だけあって、手際よく作業が進められ、部員同士の会話にも華が咲きました。また、新鮮な旬の五島産野菜を使っていることもあり、どの料理も大変おいしく出来上がりました。

参加者からは「普段使っている食材でも、工夫を凝らして作っていて、おいしかった」と感想が聞かれました。

リンアイ製品のご案内

リンアイジュース

地元の農家で丹誠込めて育てられた
みかんやお茶などの農産物が、
おいしい飲みものになりました。



1 長崎みかん100 紙パック1,000ml×6個 ¥1,540	2 長崎みかん50 紙パック1,000ml×6個 ¥1,320	3 季節商品 フルーツ&キャロット 紙パック1,000ml×6個 ¥1,800	4 季節商品 ながさき玉緑茶 紙パック1,000ml×6個 ¥920	5 長崎みかんストレート果汁 紙パック200ml×18個 ¥2,160	6 季節商品 みかんびわ 紙パック200ml×18個 ¥1,800	7 季節商品 ながさき玉緑茶 紙パック200ml×24個 ¥2,220	8 長崎みかん100 195g×30缶 ¥2,650
9 みかんつぶつぶ 195g×30缶 ¥2,650	10 びわの葉茶 190g×30缶 ¥2,570	11 そのぎ茶 (ボトル缶) 290ml×24缶 ¥2,520	12 そのぎ茶 (ボトル缶) 490ml×24缶 ¥3,000	13 五島茶 (ボトル缶) 290ml×24缶 ¥2,520	14 世知原茶 (ボトル缶) 290ml×24缶 ¥2,520	15 赤い野菜ミックス 190g×30缶 ¥3,090	16 国産りんご100 195g×30缶 ¥2,650
17 スポーツドリンク (ボトル缶) 490ml×24缶 ¥3,000	18 ブレンドコーヒー 190g×30缶 ¥2,730	19 ブラックコーヒー 185g×30缶 ¥2,730	20 4~5月限定販売 ウーロン茶 190g×30缶 ¥2,570	21 季節商品 ももストレート果汁 紙パック200ml×18個 ¥2,160	22 ウーロン茶 紙パック1,000ml×6個 ¥920	23 ウーロン茶 200ml×24本 ¥2,380	24 サイダー 350ml×24缶 ¥1,850
25 贈答用 長崎恋みかん させほ温州 (500ml) 1、 原口 (500ml) 1セット ¥2,160	26 贈答用 長崎恋みかん・長崎びわ させほ温州 (500ml) 1、原口 (500ml) 1、 長崎びわドリンク (495ml) 1セット ¥3,240	※ ①で囲まれた番号の商品は県内産の農産物を使用しています。 (⑥は一部県内産農産物を使用しています。) ※ 季節商品 4月～10月の販売です。 ※ 表示価格はすべて消費税込みです。 ※ 掲載写真のサイズ比率は商品毎に異なります。 (内容量については上記の各数値をご覧ください。)					



JAごとう 経済部
TEL:0959-72-6585
FAX:0959-72-3077
または、お近くのJA各支店へ

リンアイジュース

(平成26年4月1日改訂)

14